

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		飯田市こども発達センターひまわり		公表日		2026年 3月 13日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	18人	0人	・特に雨天時の遊戯室や廊下遊びは、人数が多くなってしまふこともあるが、クラス間で時間差を付けるなどして大人数になりすぎないような工夫を行っている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	17人	1人	・1クラス3人の担任に加えて支援保育士1人配置されている ・適切な配置になるよう代替保育士の確保、園内の職員で調整をしている。	・利用定員ではなくこどもの姿に合わせ柔軟に配置数を増減できるとよい。今年度は、所長や手の空いている職員に支援に入ってもらった時期があった。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	18人	0人	・ロッカーの配置の工夫や衝立利用等でこども達が注目しやすく見てわかりやすい環境を、それぞれのクラスで個々に合わせて考えて生活している。 ・子どもたちのロッカーで空間を仕切り、分かりやすい動線になっている。 ・座位保持椅子が通れるようドアや廊下の幅等の配慮がされている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	18人	0人	・トイレの環境等、気になっていることを相談すると業者の方を頼んで頂き改善につながっている。 ・毎日の清掃を、時間を工夫しながら行っている。必要に応じてロッカーや衝立で空間を仕切り活動を行っている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	18人	0人	・クールダウンする時や落ち着いて活動に向かえるようにする時等個別対応が必要な子の為に使用可能な部屋を確保し、他の職員に周知した上でその子の姿に合わせて使用できるようにしている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	18人	0人			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	18人	0人	・保護者向けにアンケートを実施。クラスで業務改善が必要なところは、所長や児童発達支援管理責任者とともに改善点を考えあっている。 ・頂いた意見は職員に周知してもらい、担任間でも話し考え合っている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	18人	0人	・担任会やサポートチームに所長と主任に入ってもらい、意見や職員の動き、支援方法を伝えてくれている。 ・研修のお知らせを口頭と回覧で伝えてくれている。 ・職員会、クラスリーダー会等で各クラスの様子や担任間で考えている手立て等共通理解ができる機会になっている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	18人	0人		・R7年度、第三者評価事業者による第三者評価を実施。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	18人	0人	・職員全員で研修する機会を年間計画で最低5回は決めており、皆で同じことを学んで共有できる機会にしている。 ・外部での研修も参加できる機会があり、色々な知識を学ぶことができる。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	18人	0人	・支援プログラムの公表をホームページに行っている。 ・書面を各部屋、掲示板に置き、研修会で保護者に説明・配布をしている。		

12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	18人	0人	<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援計画作成に合わせてアセスメントを見直し、姿に変化があったところが次期の個別支援計画に反映されるようにしている。 ・保護者から「子どもへの願い」を記入してもらい、ニーズや課題について確認をし支援計画を作成をしている。
13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	18人	0人	<ul style="list-style-type: none"> ・所長・児童発達支援管理責任者・担任で検討会を持ち、個に必要な支援が取り入れられているか話し合いながら作成している。 ・支援計画を作成する時に担任間で話し合ったり、検討の時にも意見を出し合いながら行っている。 ・その子にとってより良い計画になるよう姿を出しながら目標を検討している。
14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	18人	0人	<ul style="list-style-type: none"> ・支援パートの先生方にも個別支援計画を渡し、個々に対する支援の仕方、気を付けているポイント等伝えている。 ・月まとめの記録の中で、計画に沿った実践の進捗状況を、クラス担任(3名)・児発・管理者で確認をし、翌月の支援に繋げている。
15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	18人	0人	<ul style="list-style-type: none"> ・日々のごとなので、子どもの姿を担任間で話し合うことで、インフォーマルなアセスメントをしている。 ・支援計画の目標に対する子どもの姿をケース記録に入力し、日々の行動の様子や行事、保育園交流、受診の様子等もケース記録を行っている。
16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	18人	0人	<ul style="list-style-type: none"> ・管理者・児発・クラス担任で個別支援計画の検討会を実施し、ガイドラインに沿った支援目標、ねらい、支援内容を踏まえて、子どもや保護者の様子、思い等を出し合い作成し、定期的に見直しを行っている。
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	18人	0人	<ul style="list-style-type: none"> ・担任間で子どもの姿を踏まえて活動について話し、活動のねらいを共有した上で活動を行っている。
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	18人	0人	<ul style="list-style-type: none"> ・活動内容が毎回同じになってしまう時には、何をねらってやるのか、何を大事にしたのかを確認し内容検討をしたり話をする場を設け固定化しないようにした。 ・三学期からは、クラスのまとめの時期として簡単な集団遊びも経験できるよう工夫して活動を考えるようにしている。 ・1週間の中で同じ活動を入れないようにし、子どもの姿、天気、体調等を考慮して手先を使う活動、着席して行う活動、体を動かす活動など、様々な活動を経験できるようにしている。 ・素材研究、活動を通して経験できる内容等担任間で話し合いを設けたり、専門スタッフのアドバイスを参考に活動を取り入れている。
19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	18人	0人	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の姿に合わせ、個別対応、個室での活動・生活、安心の場を提供し生活をすすめていけるよう配慮した。
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	18人	0人	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの登園人数を確認し、支援の先生含め当日の朝活動内容や職員の動きを確認し共有している。 ・定期的に担任会を行い細かい1日の流れを確認し、共有することで1貫した支援を行ったり、それぞれの職員が役割分担を把握して動けるようにしている。 ・クラス内で週リーダーを中心に、活動のねらいの確認、子どもへの支援内容の確認、環境設定、担任の動き等を共通にして療育を行っている。

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	18人	0人	・午睡中や支援終了後に担任間でこどもの姿や活動を振り返り、気になったこと、支援の方法について話し合うよう心掛けた。今後の支援や環境設定、個別グッズ等に活かしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	18人	0人	・日々のことだと記録時間が長くなりがちになるので、必要な情報、支援方法を記録するように気を付けている。 ・母と話した内容など担任間で共有し支援計画に沿ってケース記録に残している。 ・記録をもとに定期的に担任会を行い、検討や共有している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	18人	0人	・年に2～3回、個別支援計画作成時にモニタリングをしている。 ・保護者の聞き取りから、相談支援専門員のアドバイスももらっている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	18人	0人	医療、事業所、保育園、学校等の関係機関とクラス担任、相談支援専門員、児童発達管理責任者、看護師等が会議に参加し、情報共有を必要に応じて行っている。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	18人	0人	・情報交換、共有の為に、担任が病院受診等に同行することをしている。 ・病院との情報交換会への参加、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士との相談を行っている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	18人	0人	・移行に向けた交流を計画し、実施している。交流前にはこどもの姿や必要な支援について資料を作成し、保育園と情報共有を行なっている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	18人	0人	・必要に応じ、他機関との支援会議・情報共有を行いスムーズに移行できるよう連携を図っている。 ・小学校見学、養護学校体験、紙面による引き継ぎ、当センターへの来園見学等、折を見て情報共有をしている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	18人	0人	・飯伊圏域にセンターが1つ、事業所少ない状況。長野県下の児童発達支援センターと情報交換しながら、取り組みそうなことを検討している。	
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	18人	0人	・小野OT研修、酒井OT研修、野々山ST研修等、専門職から助言を受けている ・外部の研修に参加し、他の児童発達支援センターについてや講演会を聞く等学んでいる。	
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	18人	0人	・南信州地域自立支援協議会、社会福祉協議会の児童福祉分科会、等に参加している。	
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	18人	0人		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	18人	0人	・松尾あかり保育園交流、個々の地元保育園交流がある。 松尾あかり保育園と年8回の交流の機会を計画、実施している。当センター、保育園の両方のそれぞれの環境で、遊びを通して交流をする機会になっている。	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	18人	0人	・親子通園日、連絡帳を活用し共通理解できるよう考えるようにしている。 ・保護者にわかりやすく伝える努力はしている。		

	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	18人	0人	・視覚支援学習会、サポートブック学習会や、専門スタッフによる学習会を実施し、こどもの理解につながる支援を考え合っている。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	18人	0人	・契約時の重要事項説明会や学習会にて、運営規定、支援プログラム等の説明を行っている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	18人	0人	・支援計画の中に、保護者の「こどもへの願い」を参考にしながら、計画作成を行っている。また、保護者との面談の中で、子どもの姿の理解や、保護者の思いを聞き取り、日々の支援に繋げている。 ・定期的な作成と見直しをし、保護者への説明を個別で行っている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	18人	0人	・児童発達支援システムから個別支援計画が確認でき、説明後サインをもらっている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	18人	0人	・必要に応じて面談の時間を作り助言、支援を随時実施している。 ・偏食・肥満など食事に関することは栄養指導として栄養士も介入をしている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	18人	0人	・支援グッズ作成のために集まる母連に場所や道具の提供を行っている。 ・保護者会・母の会のおしゃべり会や学習会への協力を行う。	・兄弟同士で交流する機会は設けられていない。
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	18人	0人	・相談や申し入れについては、担任から担当者(児童発達管理責任者、所長)に伝え対応する等、相談体制を整備し対応している。 ・苦情受付体制を基に、相談内容や申し入れを報告し、管理者による迅速な周知・対応が行われている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	18人	0人	・ひまわり通信の発行 ・行事についてのクラス便りの発行、お知らせの板書をクラス内に置いて周知する等実施している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	18人	0人	・外部に持ち出さない、発達支援システムの使用方法の運用ルールを決める等の対策をしている。 ・取扱いには注意している ・個人ケース記録等は施錠できる場所へ保管している。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	18人	0人	・連絡帳を通じて日々のこどもの姿を保護者に伝えることで、日中のこどもの様子や体調を保護者が把握できるようにしている。 ・視覚的要素の活用、ジェスチャーやサイン、分かりやすい構造化での環境的配慮・工夫を実践している。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	18人	0人	・夏祭りへの呼びかけ、入園のつどい、卒園のつどいへの来賓招待等を行っている。 ・地域の方々の農園でじゃがいも掘り、さつま芋掘りに参加し、地域の方と交流する機会になっている。	
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	18人	0人	・マニュアルの策定、訓練の実施をしている。家族への周知は検討する必要がある。 ・月1回災害、防犯の発生に備えて避難訓練を実施している。こどもの姿を想定して担任間でどのようにこどもや保護者と関わったらいいか、担任間の役割等も確認をしている。	
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	18人	0人	・月1回非常時の避難訓練を行っている。視覚支援を活用しながら子どもや保護者にわかりやすく災害について話をするとともに避難場所、避難の仕方について話をしている。	・BCPを策定し、飯田市の防災訓練に準じて訓練を行っている。今後見直しについて検討が必要。

非常時等の対応	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	18人	0人	<ul style="list-style-type: none"> ・服薬、発作等は個々に把握し、医師の指示書のもと、対応している。 ・年度初めに保護者から提出してもらった記録を読む、引き継ぐ場合は資料と口頭で聞き、担任間で共有している。途中で変更があった時もすぐに担任間で共有している。 ・4月に看護師によるシミュレーション研修を行い全職員で周知している。 ・担任間で記録と共有を必ず行い、上司への報告も行っている。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	18人	0人	<ul style="list-style-type: none"> ・該当児には飯田下伊那保育園・幼稚園給食アレルギー対応食指示書を利用し、医師の指示書に基づいて献立作成、除去食に対応した給食提供をしている。 ・指示書を把握し、献立の除去食の確認、食事提供の際の職員間の声かけ確認、対応を共通にする等日々間違えないように気を付けている。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	18人	0人	<ul style="list-style-type: none"> ・安全計画は策定済み。 避難訓練の他、防災予防組織の策定、遊具点検、安全点検等の自主点検を行っている。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	18人	0人	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月の避難訓練に機会を見て参加してもらい、その中で話をしている。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	18人	0人	<ul style="list-style-type: none"> ・事故・怪我・トラブル等あった際はまずクラス内で、原因の追究や改善方法を話し合い、ヒヤリハットを朝礼で報告、全体での支援や注意が必要な際は共有し再発防止に努めている。 ・担任間で記録と共有を必ず行い、上司への報告を行う。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	18人	0人	<ul style="list-style-type: none"> ・R7は県の出前講座を依頼し、虐待防止研修を行った。 ・虐待防止のため、市と連携しながら要支援ケースの家庭を支援している。 ・定期的な虐待防止委員会の中で、適切な対応について振り返りを行っている。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	16人	2人	<ul style="list-style-type: none"> ・身体拘束についての指針がある。虐待防止研修とともに研修を行う。基本的には身体拘束は行わない。 ・本児の体に触れていることで着座できる場合は、支援として保護者に伝えることがあるが、身体拘束として行っていないため支援計画には記載していない。